

八碁連だより

1月号 第341号

発行年 令和2年1月1日

発行所 八王子囲碁連盟

住所 八王子市大和田町

3-17-42-110

電話 042-686-1762

発行者 成田 滋

編集者 森本康男

目次

☆巻頭言・・・1

・「投了についての一考察」

☆八碁連二段以下囲碁大会の成績・・・3

☆八碁連囲碁大会のご案内・・・4

・初の女性囲碁大会

・第27回タイトル囲碁大会

☆日本棋院八王子支部・・・5

・知念かおり六段指導碁の講評

・甲田明子四段の指導碁のご案内

☆令和2年の年頭のご挨拶・・・6

・八碁連会長 成田 滋(大和田)

☆編集後記・・・7

八碁連 HP <https://hachigoren.com>

八王子囲碁連盟の目的

八碁連は市民が、伝統文化である囲碁を通じて親睦を図り、健康が維持できるような機会を提供し棋力の向上を目指すとともに、囲碁の啓蒙と普及に努めることを目的とする。

巻頭言

「投了」についての一考察：囲碁に於ける「中押し勝ち」の意味を探る

台町囲碁同好会(相談役) 高本 衛



囲碁の勝敗は、将棋のように「玉」が詰むという劇的な幕切れで決めるのではなく、最終的には「地」の多さで決まるけれど、いずれか一方が形勢不利で逆転の見込みがないと判断して投了した場合には、途中で勝敗は決めます(中押し勝ち)。しかし、投了するのはあくまでも本人が決めることで、相手や立会人等が促したり決めたりすることはできません。現実には目の前の対局者が、大石が死んで地が50目、100目もリードされているのに、投了しないで延々

とダラダラ打ち続けでもされたらどうでしょうか。世の中には忍耐強い人もおられるでしょうが、中には文句をいう人もいるでしょう。時間制限でもあればまだしも、少なくとも内心は穏やかではないでしょう。日本棋院の規則にも具体的には何も書いていないのだから諦めて我慢すべきか…いや、ちょっと待って下さい。囲碁はそもそも相手に敬意と感謝の念を表すことを「マナー」とする知的ゲームなのです。長い歴史の中で育まれた“潔さ”といった日本古来から脈々と受け継がれた武士道的な精神性も尊重すべきでしょう。囲碁を学ぶに当ってはこの文化的側面を蔑ろにははいけません。一般的な社会通念として「良識」とされるものを身につける必要があります。さらに付記すると、日本棋院「囲碁規則」の制定の経過のところに囲碁を嗜むうえでの心構えが書いてあります。私はこの「前文」にあたる部分こそ、規則を超越する「碁の心」と考えるべきだと思います。

囲碁を勝ち負けのある勝負事と捉えたとき、誰しも負けて喜ぶ人はまずいないでしょう。ましてや自ら負けを認めて投了するのはとてもつらいことです。もし最後まで粘っていたら、相手が凡ミスを犯せば逆転するかも知れない。それを放棄するのはもったいないじゃないかと。ましてや大会(活きいき大会等)では、優勝(昇段・昇級)のチャンスを潰すことになり残念だし、悔しい！！いや、待てよ、逆転したら相手はどう思うだろうか。自分よりもっと悔しいはずだ。そうだ、愚痴は止めて潔く引き下がることにしよう。投了のタイミングとなるとこれが難しい問題です。棋力による判断力の違い、ショックの大きさの違いなどで異なります。大石が死んだ時は投了のタイミングではあるが、地合いの差は五～六段クラスでも判断しかねるのか、最後まで打ってしまって差の大きさに気がつき、「失礼しました」ということはママあるようです。そのくらいのことは大人の対応をすればいいのではではないでしょうか。

八碁連のように時間切れ負けの碁ばかり打っていると、ゆっくり時間をかけて打つ習慣は身に付きにくいものです。それに比例して形勢判断をする習慣も付きにくいものです。また、形勢判断というのは結構難しいことなんですね。私も囲碁の指導はそれなりにやっけていながら、形勢判断については何故か教えてこなかったのは一生の不覚というべきで申し訳なく思っています。

今年オリンピック・パラリンピックが東京で行われますが、スポーツの世

界ではいくら劣勢でも最後まで諦めずに全力で戦い抜けと教えられています。これはもちろん当たり前前で、スポーツマンシップでもあり、相手に対する礼儀でもあります。それでは何故、将棋や囲碁には「投了」するという行為が認められているばかりか、尊ばれているのでしょうか。

囲碁は「長い歴史と伝統を持ち、知的競技として、また芸術的価値の高い文化でもあることから、ルールだけではなく礼儀、品位が尊重され、良識と相互信頼の下で対局される」(日本棋院規約制定の経過より引用)もので、スポーツより高度の精神性が求められる所以ではないかと思います。もちろん、やみくもに投了すればよいというわけではなく、起死回生の勝負手を試みる根性は持ち合わせるべきですし、囲碁は気がつかないようなところに手があるもので、簡単に諦めることは無いのです。

なお、近年、カーリングが普及したことで、勝ちがほぼ不可能とみたらギブアップする競技も現れました。一方、ラグビー・サッカー・アメフトなどに見られる、終盤に於いてリードしているチームが時間稼ぎをして逃げ切るといった戦法が当たり前になっているのは、あまり美しくない光景ばかりか前述したスポーツマンシップにも反する見苦しいものです。昨年末行われたアメフトの甲子園ボウルの第4クォーター終盤は、時計を見ながらのゲームで面白くなかった。もっと工夫を凝らせば、最後の最後まで激しい戦いが展開されて、観る側からも手に汗を握る好ゲームとなったことでしょう。世の中(世界も)が荒廃してくると、人々は「心の余裕」がなくなってきた目への勝敗(利益)のみにこだわるようになり、勝利至上主義が世界を席卷し、それぞれが「第一主義」を唱えるようになってはこの世界も終焉に近づいているのかもしれない。とは言っても昨年は、ラグビーのワールドカップにおいて、日本国民はフェアプレーの宝庫のような素晴らしいゲームや各国の選手との交流などを通じて、沢山の感動と将来への夢を与えてくれ、熱狂に沸いたことは記憶に新しい。まだ捨てたもんじゃないよ。

最後に、私が生涯で最も不愉快な思いをした碁は「ああ～ダメだ 今日調子が悪い やる気がしなくなった」と言いながら、ダラダラ打ち続けられたときです…心の中で「イヤならサッサと投げなよ！」

第 30 回八碁連二段以下囲碁大会の成績(入賞者)

日 時…令和元年 11 月 23 日(日) 午前 9 時 00 分～午後 3 時 30 分

場 所…東浅川保健福祉センター

- ・ Dクラス(二段～1 級級) : 26 名
優 勝 : 浅川武二三 二段(恩方)→三段 準優勝 : 筒井政範二段(浅川)
三 位 : 長野千恵三 初段(長房)
- ・ Eクラス(1 級～4 級) : 20 名
優 勝 : 鷹取 宏 3 級(台町)→2 級 準優勝 : 箕輪紀雄 3 級(恩方)
三 位 : 山本公明 2 級(恩方)
- ・ Fクラス(4 級～10 級) : 22 名
優 勝 : 福永啓一 4 級(長房)→3 級 準優勝 : 藤原幹治 5 級(恩方)
三 位 : 尾崎恵美子 5 級(長房)

八碁連囲碁大会のご案内

1) 第 27 回タイトル囲碁大会の開催

各地区同好会のタイトル(王将・名人・天狗)戦の入賞者(優勝・準優勝)がタイトルを競う大会です。各地区ともタイトル毎に 2 名で計 6 名が参加できます。

- ・ 日 時 : 令和 2 年 2 月 2 日(日) 受付 午前 9 時 15 分～
- ・ 会 場 : 東浅川保健福祉センター
- ・ 主 催 : 八王子碁碁連盟
- ・ 後 援 : 八王子市。日本棋院、日本棋院八碁連支部
- ・ 参加資格 : 各地区同好会の令和元年度前期・後期のタイトル獲得者
なお、タイトル獲得者が参加できない時は届済みの準優勝者が代わりに参加できます。
- ・ 競技方法 : 八碁連方式
- ・ 参加費 : \1,000-(含昼食代)
- ・ 申込先 : 木河 専(理事 : 競技担当)m-kikawa@mtj.biglobe.ne.jp
- ・ 申込期限 : 令和 2 年 1 月 19 日

2) 初の女性囲碁大会の開催

八王子市に在住、在勤、通学する女性への囲碁の啓蒙と普及や女性会員の棋力向上をめざし、互いの親睦を図る大会を開きます。女子児童生徒の参加も歓迎します。優勝者には賞状を授与します。申込は八碁連 Web サイトからも受け付けています。

・日 時：令和2年2月16日(日) 午前9時～午後4時(予定)

・会 場：東浅川保健福祉センター

・参加費：\1,000- 子ども\500-……(含昼食代)

・競技方法：スイス方式(4回対局)

・大会委員長：吉澤 實八段(八碁連相談役)

・後 援：日本棋院八碁連支部 日本棋院八王子支部 日本棋院

・申込先：成田 滋(八碁連会長) shigerunarita@gmail.com

(042)686-1762

・申込期限：令和2年2月2日



日本棋院八碁連支部コーナー

常任幹事 南正一郎

1) 知念かおり六段の指導碁は終わりました。

11月24日、八碁連二段以下囲碁大会に併せて、知念かおり六段の指導碁を開催しました。参加された皆さんはそれぞれ愉快的ひと時を過ごされたと思います。知念かおり六段の講評をいただいておりますので紹介します。

☆昨年に続き今年も八碁連の会員の皆さんと、一日楽しく充実した時間を持てたことを感謝しています。

☆対局した皆さん全員が三子と四子のレベルの高さを感じました。戦い好きな方が多いかも？

☆お互いの対局をパソコンで棋譜付けをしていることは、とっても素晴らしいと思います。あとでふりかえることは、棋力アップにつながります

ね！

☆棋譜付けや対局を観戦されている方の様子からも皆さん、仲がよいんだなあと感じました。

☆お食事の席で皆さんのお話を聴いていても、横のつながりや連携がしっかりとれていること、素敵だなと思いました。

☆大会の方は女性の参加者も多く、華やかで嬉しかったです。年に18回も大会を開催さ



れていること、皆さんの普段の地道な努力の賜物だと思います。

指導される知念かおり六段

☆皆さん普及活動をされていること、感謝の気持ちでいっぱいです。私もできることをがんばりたいなと改めて思います、と心暖まる感想を寄せていただきました。

2) 第5回甲田明子四段による指導碁の会

- ・日 時：令和2年2月12日(水) 午後1時～4時(予定)
- ・場 所：東浅川保健福祉センター 第3集会室
- ・指導料：\2,000-
- ・対 局：4面打ちで1局1時間半 先着順に8名で締めきります
- ・申込先：南正一郎 (☎/Fax)：663-5446
e-Mail：sminami0003@yahoo.co.jp

令和2年の年頭にあたり 八碁連会長 成田 滋(大和田)

令和2年を迎えるにあたり、年頭のご挨拶を申し上げます。森羅万象全て

が時間の経過とともに歴史を刻んでいます。年頭というのはその一時点ですが、過ぎた時を顧み新しいことを展望する節目ともいえそうです。そのような感慨を抱きながら、八碁連のこれからを考えています。八碁連は会員が棋道を極めようとする精神に満ち、澆刺として活気に溢れた組織でもあります。囲碁は年齢や性別を問わない伝統文化です。なんと 92 歳の女性が「ねんりピック」の愛称で親しまれている第 32 回スポーツ・文化交流大会の囲碁の部門に参加して話題を撒きました。このお方は時を超越し、なお成長という気概に満ちた女性だろうと察します。

「勢いのある同好会には女性会員や級位者が多い」と指摘しているのが、長房同好会の小田辰郎氏です。その逆も真のように思います。多くの男女共同参画の組織は生きいきとしています。顧みますと八碁連は 31 年の歴史でいまだ誰一人として女性が役員になったことはありません。今年の夢として、そろそろ女性の役員が出るように祈念しております。

編集後記

令和元年 12 月度理事会報告(12 月 28 日開催)は 2 月号に掲載します。

(文責：森本康男)